

川崎市立学校プール可動床設備保守点検業務仕様書

1 目的

この業務は、川崎市立学校に設置されているプール可動床設備（以下「設備」という。）を良好な状態に保つことを目的とする。

2 履行場所 別表のとおりとする。

3 履行期間 令和7年4月1日～令和7年10月31日まで

4 業務内容

- (1) 受注者は、設備を常に安全かつ良好な状態に保つものとする。
- (2) 別紙点検基準に沿って、点検すること。
- (3) 点検については、水のある状態及び水の無い状態でそれぞれ実施すること。
- (4) 業務に必要な用具及び消耗品等は受注者の負担とする。
- (5) 業務実施1ヶ月前に、実施予定日を一覧表にして日程・時間を発注者に連絡すること。なお、学校側の都合により予定日を変更いただく場合がありますのでご了承ください。また、業務実施日は、原則として学校閉庁日（土曜日・日曜日・祝日、夏季学校閉庁日等）を除きます。実施は学校職員立ち会いの下で行うこと。ただし、設備に故障が発生した場合は、速やかに技術者を派遣して点検すること。
- (6) 行政庁の検査等の場合は、受注者は必要に応じてこれに立ち会い、指示された事項については発注者受注者協議の上、必要な処置を施すこと。
- (7) 受注者は点検結果及び処置内容について、作業完了報告書を作成し、当該学校長印（公印）を受けた後、速やかに発注者へ提出すること。
- (8) 次の修理又は取り替え工事は本業務に含まない。
 - ア 発注者の都合で行う工事又は模様替えにより設備の移設又は改修を要するとき。
 - イ 設備の破損又は老朽化等により、受注者の責に帰さない機器に更新又は変更の必要が生じた場合で、発注者の認めたもの。
 - ウ 法改正等により設備の改善を命ぜられたとき。
- (9) 受注者は業務実施のため、各学校に来校した際は最初に職員室でIDカードを受け取り、在校中は必ずこれを携帯し退校の際に職員室へ返却すること。
- (10) 不明な点等があれば、発注者と協議を行うこと。

可動床装置定期点検基準

1、趣 旨

この基準は、プールに設置される可動床装置の機器・部品の故障・寿命等によるトラブル・災害を防止するため、当該可動床装置について定期的に点検を行う場合の点検項目・点検方法及び判定基準を定めたものである。

2、定期点検項目・基準

可動床装置の定期点検項目・点検方法及び判定規準は、次の表による。

| | 部 分 | 点検項目 | 点検内容 | 判定規準 | 点検場所 | 調整場所 |
|---|--------|----------------------------------|--|--|-------------------|--------------|
| 1 | 可 動 床 | 1) 吊点レベル差 | 1) 各吊点の水深を測定し、著しいレベル差がないこと。 | 1) 各吊点レベル差 ±5mm以内 | 可動床上 (水深100mm) | ピット内 |
| | | 2) 昇降速度 (参考値) | 2) 昇降速度の測定確認。 (ストップウォッチ) | 2) 0.18m/min (設計値) 標準タイプ | 可動床上 | |
| | | 3) 停止精度 (床吊点) | 3) 停止レベル測定確認。 (コンベックス) | 3) 設定値±5mm以内 | 可動床上 | |
| | | 4) 浮力バランス (浮力材は消耗品) | 4) 可動床の高低差が小さいこと。 (コンベックス) | 4) 吊点に対し高低差 50mm以内 | 可動床上 (水深100mm) | 可動床下 (水中) |
| 2 | デッキ材 | 1) デッキ材の外観確認 | 1) 目視にて観察し、傷等ないこと。 | 1) 表面に深い傷等のないこと。 | 可動床上 | |
| | | | 2) デッキ材のスキマが小さいこと。 | 2) 6mm以下 | | 可動床下 |
| | | | 3) デッキ材、コーナアングルの外れはないか。 | 3) 外れなし | | 可動床上 |
| | | 2) コースラインの塗装状態 | 4) 目視にてコースラインの塗装状態の確認 | 4) 剥離、傷等により外観不良でないこと。 (不良部は客先殿判断、指示により対応する) | 可動床上 | |
| | | 3) デッキ材の取付状態 | 5) 止め金具のゆるみ、外れ状態の確認 | 5) 増し締めによる確認。 | 可動床下 (水中) | 可動床下 (水中) |
| 3 | メインポスト | 1) 吊りチェーン・スプロケットの状態 | 1) チェーンのゆるみ確認。 | 1) 適正なテンション状態のこと。 (撓み=スプロケット間距離×2%以内) | 可動床下 (水中) | 可動床下 (水中) |
| | | 2) シャッターの作動状況 | 2) 目視にて観察し、作動中に引っ掛かり等の異常確認。 | 2) 引っ掛かり等のないこと。 | 可動床上 | 可動床下 (水中) |
| | | 3) シャッターの状況 (シャッターは消耗品) | 3) 表層部の剥離、欠け、傷等の状況確認。 | 3) 安全上、作動上および外観上問題となる傷、亀裂等がないこと。 | 可動床上 (水中) | |
| | | | 劣化磨耗による減厚確認。 | シャッター厚み3mm以上 (新品4mm) | 可動床上 (水中) | |
| | | | フロントカバーとシャッターの隙間確認。 | フロントカバーとの隙間 (2～3mm) シャッター新品時の設計値 2mm | 可動床上 (水中) | |
| 4 | 駆 動 部 | 1) モーターの取付状態 作動時の異常音 負荷電流値 | 1) 取付ボルトの緩み確認。 異常音の有無確認。 電流計による負荷電流測定。 (クランプメーター) | 1) 取付ボルトにゆるみのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | | | 異常音のないこと。 定格電流値以内であること。 | | |
| | | 2) 減速機の取付状態 作動時の異常音 | 2) 取付ボルトのゆるみ確認。 異常音の有無確認。 | 2) 取付ボルトにゆるみのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | | | 異常音のないこと。 | | |
| | | 3) 駆動軸外観確認 接続部のゆるみ確認 | 3) 目視にて観察し、外見上の異常の有無を確認する。 カップリングのゆるみ確認。 | 3) 亀裂・損傷・その他外見上の異常が無いこと。 取付ボルトにゆるみのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 4) 駆動軸受の取付状態 作動時の異常音 | 4) 取付ボルトのゆるみ確認。 異常音の有無確認。 | 4) 取付ボルトにゆるみのないこと。 異常音のないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 5) 駆動チェーン・スプロケット | 5) チェーンのゆるみ確認。 給脂状態の確認。 | 5) 適正なテンション状態のこと。 適正な給脂状態であること。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 6) トルクリミッター パワーロックの状態 | 6) 機器の滑り状況確認。 | 6) 滑りがないこと。 | ピット内 | ピット内 |

| | 部 分 | 点検項目 | 点検内容 | 判定規準 | 点検場所 | 調整場所 |
|---|----------|-----------------------------|--------------------------------|--|-------------|----------|
| 4 | 駆 動 部 | 7) カップリングの取付状態 | 7) 取付ボルトのゆるみ確認。 | 7) 取付ボルトにゆるみのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 8) 駆動軸ボックスの状態 | 8) 駆動軸ボックス周辺からの水漏れ | 8) 水漏れのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 9) 駆動軸シールの状態 | 9) 駆動軸ボックス周辺からの水漏れ | 9) 水漏れのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 10) 位置検出用ボールネジの状態 | 10) 目視にて観察し、作動状態の良否を確認する。 | 10) 正常な作動状態であること。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 11) 各機器のボルト締付け状態 | 11) ボルトのゆるみ確認。 | 11) ボルトにゆるみのないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 12) ピット内メッキ部の状態 | 12) ピット内メッキ部の発錆状況 | 12) メッキ部より著しい発錆のないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| | | 13) ピット内の状態（環境） | 13) 水溜りの有無。 換気（結露の発生）状態。 | 13) 機器が水没していないこと。 機器類に結露がないこと。 | ピット内 | ピット内 |
| 5 | 固 定 柱 | 1) 旋回状態、ねじ込み状態の確認 | 1) 治工具により作動できるか。 | 1) 問題なくセットできること。 | 可動床上 | 可動床下（水中） |
| | | 2) 収納（セット）状態の確認（浮力材は消耗品） | 2) 浮力により床下に格納されているか。（セット状況の良否） | 2) 床下に格納されること。 （格納不十分の場合は浮力材の交換が必要） | 可動床上 | 可動床下（水中） |
| 6 | 振れ止めローラー | 1) 振止ローラーの取付状態 | 1) 取付ボルトのゆるみ確認。 | 1) 取付ボルトにゆるみのないこと。 | 可動床下（水中） | 可動床下（水中） |
| | | | 2) プール壁との隙間確認。 （コンベックス） | 2) 隙間 5mm以内 注）プール壁の傾きに注意 | 可動床上 | 可動床下（水中） |
| 7 | 電気機器 | 1) 上昇・下降限センサーの作動状態の確認 | 1) 停止位置で検出されているか。 | 1) 正常に検出されること。 | 操作盤 ピット内 | |
| | | 2) 操作盤・制御盤 | 2) 機器の破損、損傷、ビスの緩み | 2) 破損、損傷、緩みのないこと。 | 操作盤 | 操作盤 |
| | | 3) 位置検出器 エンコーダー、アブソリューター | 3) 昇降位置の検出状態を パネルの水深数値表示で確認 | 3) 滑らかに切替わること。 | 操作盤 | |
| | | 4) タッチパネルの状態 | 4) 画面の明瞭度。 | 4) 操作に支障のないこと。 | 操作盤 | |
| | | 5) 絶縁抵抗の確認 | 5) モーターの絶縁抵抗値測定 （メガー） | 5) 10MΩ以上 | 操作盤 | |
| | | 6) 電圧の確認 | 6) 電圧測定 （テスター） | 6) ±10%以内 | 操作盤 | |
| 8 | そ の 他 | 1) お客様要望事項 | 1) お客様要望・指摘事項の 確認・調査 | | | |

川崎市立学校プール可動床設備保守点検業務実施校

| No. | 学校名 | 住所 | 電話番号 | 可動床 | |
|-----|----------|---------------|--------------|----------|------|
| | | | | 方式 | 床面積 |
| 1 | 王禅寺中央小学校 | 麻生区王禅寺東4-14-1 | 044-988-9700 | チェーンドライブ | 325㎡ |
| 2 | はるひ野小中学校 | 麻生区はるひ野4-8-1 | 044-980-5211 | チェーンドライブ | 325㎡ |

(受託者→学校→受託者→発注者→教育環境整備推進室)

作業完了報告書

令和 年 月 日

学 校 長 様

(受託者)
所 在 地 _____

名 称 _____

代表者氏名 _____ 印

業務名 川崎市立学校プール可動床設備保守点検業務 (_____ 学校)

が、完了しましたので、報告いたします。

上記の業務について、完了したことを確認しました。

令和 年 月 日

川崎市立 _____ 学校長 _____ 印